

発行/恵那市議会

編集/広報広聴特別委員会

〒509-7292

恵那市長島町正家一丁目1番地1

TEL 0573-25-8221

メールアドレス gikai@city.ena.lg.jp

HPアドレス <https://www.gikai.city.ena.lg.jp/>



▲第53回 光秀まつり（武者行列）



議会だより6月1日号

～目次～

3月議会定例会提出議案の概要	2～5
議案議決結果	6～8
一般質問（9人登壇）	8～12
3月議会常任委員会報告	13～15
市議会傍聴アンケート結果	16～18
議員総会	19
表紙の説明、主な出来事	20

令和8年 第1回定例会

一般会計予算309億4千万円を可決

20年後の将来像「自然とともにひととまちが輝く活力あふれる恵那」を目指した取組をスタートさせるための新年度予算等について審議

令和8年第1回定例会が2月26日から3月23日までの26日間にわたり開催されました。

今回の議会に上程された議案は、専決処分の承認1件、条例の制定1件、条例・規則の一部改正15件、その他6件、人事案件4件、補正予算8件、当初予算10件、追加議案ではその他1件、議会提出議案4件、合計50件です。主な議案の内容は次のとおりです。

なお、議決結果は6ページ〜8ページの議決一覧表にて掲載してあります。



専決処分

○一般会計補正予算(第8号)
衆議院議員総選挙の執行に伴い3500万円を計上する。

条例

○地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正をするため、この条例を定める。

○恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

恵那市議会議員の報酬の額を改めるため、所要の改正を行う。

○恵那市常勤の特別職職員給与に関する条例の一部改正について

市長、副市長及び教育長の給料月額を改めるため、所要の改正を行う。

○恵那市職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づき、自動車等使用者に対する通勤手当支給者に対して、駐車場の利用に対する通勤手当を新設するため、所要の改正を行う。

○恵那市職員等の旅費に関する条例の一部改正について

国家公務員等の旅費に関する法律の一部改正に伴い、恵那市職員等の旅費に関する規定の見直しを行うため、所要の改正を行う。

○恵那市法令遵守の推進等に関する条例の一部改正について

公益通報者保護法の一部改正に伴い、公益通報を妨害する行為を禁止するなど当該通報を阻害する要因に対処する規定を追加するため、所要の改正を行う。

○恵那市市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部改正について

地方自治法及び地方自治法施行令等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

○恵那市国民健康保険条例の一部改正について

子ども・子育て支援法等の一部改正による国民健康保険法施行令及び国民健康保険の国庫負担金等の算定に関する政令の一部改正に伴い、子ども・子育て支援納付金を徴収するなど所要の改正を行う。

○恵那市明智回想法センター条例の一部改正について

令和7年度末での指定管理者の指定期間終了後に市の直営となり、休館日や利用料金などを改めるため、所要の改正を行う。

○恵那市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部改正について

貸付金の種類に恵那市林業担い手修学資金を加えるため、所要の改正を行う。

○恵那市分担金等徴収条例の一部改正について

重要インフラ保全対策事業に係る分担金を徴収するため、所要の改正を行う。

○恵那市自転車駐車場条例の一部改正について

岩村駅前自転車駐車場などの施設において、指定管理者の指定期間が終了し、直営となることに伴い、当該施設の管理に必要となる準用規定を設けるため、所要の改正を行う。

○恵那市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

機能別消防団員の報酬を改めるなど所要の改正を行う。

○恵那市子ども園設置条例の一部改正について

乳児等通園支援事業の実施に伴い、当該事業に係る費用を徴収するため、所要の改正を行う。

○恵那市議会議員及び恵那市長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成に係る公費負担の限度額を改めるため、所要の改正を行う。

○恵那市議会議員及び恵那市長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部改正について

公職選挙法施行令の一部改正により、選挙運動用ビラの作成に係る公費負担の限度額を改めるため、所要の改正を行う。

その他

○財産の処分について

目的 市有財産の売却事業
 契約の方法 随意契約
 契約金額 3485万4千円
 契約の相手方 株式会社デジタルホールディングス

○和解及び損害賠償の額を定めることについて

損害賠償の相手方 株式会社 東海技研
 損害賠償の理由 運転操作誤りにより公用車が相手方の社屋屋根に接触したため、屋根が破損し、損害を与えた。

過失割合 市・相手方1100:0
 損害賠償の額 362万650円

○市道路線の廃止について

上矢作町40号線 起点 恵那市上矢作町字ハネ468番5地先
 終点 恵那市上矢作町字中越1169番7地先 延長145・60m
 について市道路線の廃止を行う。



▲上矢作町40号線（廃止）

○市道路線の認定について

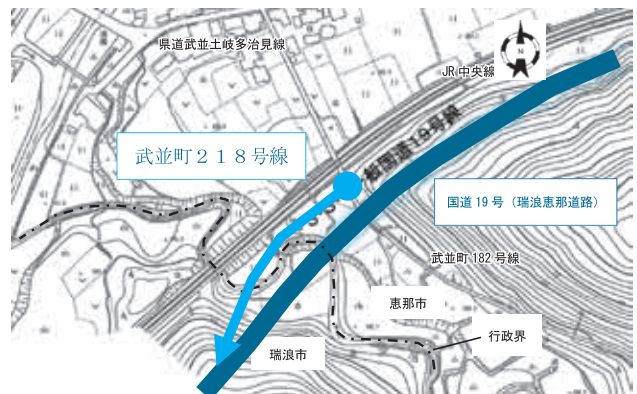
武並町218号線 起点 武並町竹折字月沢 終点 瑞浪市釜戸町字大羽根
 上矢作町97号線 起点 上矢作町字川原島 終点 上矢作町字上矢作
 上矢作町98号線 起点 上矢作町字下川原 終点 上矢作町字ハネの3本について市道路線の認定を行う。



▲上矢作町98号線（認定）

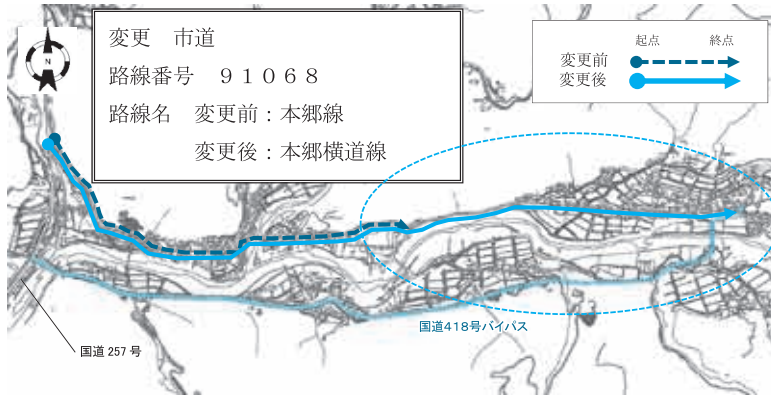


▲上矢作町97号線（認定）



▲武並町218号線（認定）

○市道路線の変更について
 本郷線 上矢作町29号線 上矢作町47号線の3本について市道路線の変更を行う。



▲本郷横道線



▲上矢作町47号線



▲上矢作町29号線

○恵那市過疎地域持続的発展支援計画の策定について

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく恵那市過疎地域持続的発展支援計画の計画期間満了に伴い、次期計画を定めることについて、議会の議決を求める。

人事

○人権擁護委員の候補者の推薦について
 現委員である長谷川俊彦氏の任期満了に伴い、新たに柘植美幸氏を人権擁護委員に推薦する。

○人権擁護委員の候補者の推薦について
 現委員である山口宗春氏の任期満了に伴い、新たに瀨瀬佳恭氏を人権擁護委員に推薦する。

○人権擁護委員の候補者の推薦について
 現委員である高津典生氏の任期満了に伴い、再び同氏を人権擁護委員に推薦する。

○人権擁護委員の候補者の推薦について
 現委員である平林和美氏の任期満了に伴い、再び同氏を人権擁護委員に推薦する。

その他(追加議案)

○契約の締結について

契約の目的 まきがね公園体育館空調設備設置工事(機械)

契約の方法 公募型指名競争入札

契約金額 2億570万円

契約の相手方 東栄西尾ツゲ特定建設工事共同企業体

予算関係

当初予算一般会計

309億4千万円を可決

○令和8年度当初予算関係

一般会計の歳入では、市税は、固定資産税や都市計画税の増加などにより前年度比0・7%、4866万円の増収を見込んでいる。また、地方交付税は、昨今の人件費の増や物価高騰に伴う影響を加味し4億5千万円の増収を、寄附金においてはふるさとえな応援寄附金にて1億円の増収を見込んでいる。

歳出では、令和7年度までに行った恵那南中学校整備事業や中学校屋内運動場空調設備設置事業などの完了に伴い、予算規模は縮小となったが、更なる子育て支援事業の拡充や、新たな技術を活用

した市民サービスの展開、リニアを始めとした基盤整備など、市民生活の向上と市の発展・成長を両立させた予算とした。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計は保険給付費の減少により前年度比7・6%、3億9100万円減の47億4140万円、介護保険事業特別会計は介護給付費の減少により前年度比1・2%、7800万円減の62億7210万円、後期高齢者医療特別会計は被保険者の増加により前年度比15・5%、1億4630万円増の10億9040万円など、全体では前年度比2・6%、3億2270万円減の121億520万円とした。

企業会計では、下水道会計の資本的支出が、浄化センター耐震化・設備更新工事費の減などにより前年度比31・2%、4億3240万円減、病院事業会計の資本的支出がMRIを始めとした医療機器の更新等により前年度比29・9%、2億4010万円増、国民健康保険診療所事業会計の資本的支出が電子カルテの導入や山岡診療所における婦人科開設などにより前年度比100%、4940万円増など、全体では前年度比0・5%、4540万円増の91億7060万円とした。

補正予算一般会計

7億4665万6千円増を可決
令和7年度補正予算

一般会計では、物価高騰対応に係る事業として、高齢者等生活支援事業費として4450万9千円、こども園改修事業費として1430万円、小学校施設改修事業費として2163万6千円、中学校施設改修事業費として528万2千円、図書館運営経費として49万5千円を計上した。緊急対応を要する事業として、衆議院議員選挙費として3500万円、財産管理一般経費として1481万7千円、庁舎維持管理経費として3872万円を計上した。

国庫・県支出金・寄附金等の財源を活用した事業として、地域防災力向上事業に5057万円、移住・定住推進事業費として13万2千円、地域自治推進事業費として144万5千円、鳥獣害対策事業費として116万2千円、リニア基盤整備事業費として9200万円、小学校教育振興費として86万1千円、中学校教育振興費として260万円を計上した。

議会提案

○恵那市議会会議規則の一部改正について

議会での一般質問や委員会などにおいて、答弁側である市長らが質問者である議員に対し論点を明確にし、議論をより深めるために質問することができ、「反問権」を認めるため、規則の一部を改正する。

○恵那市議会議務活動費の交付に関する条例の一部改正について

恵那市議会議務活動費の交付について、交付申請に係る手続に関する規定を改めるとともに、当該申請に係る規定の字句を修正するなど、必要な改正を行う。

○恵那市議会個人情報保護条例施行規則の一部改正について

住民基本台帳カードの有効期限の満了により、規則の一部を改正する。

3月議会定例会傍聴者

24名



議会活動報告

2月

- 12日 議会運営委員会
- 13日 全員協議会
- 17日 全員協議会
- 19日 議会運営委員会
- 26日 恵那市議会定例会（初日）

3月

- 5日 総務文教委員会
- 市民福祉委員会
- 経済建設委員会
- 議会運営委員会
- 6日 全員協議会

4月

- 12日 各派代表者会議
- 恵那市議会定例会（2日目）
- 12日 総務文教委員会
- 17日 恵那市議会定例会（3日目）
- 各派代表者会議
- 18日 恵那市議会定例会（4日目）
- 23日 恵那市議会定例会（最終日）
- 24日 全員協議会
- 24日 議員総会
- 21日 議会運営委員会
- 全員協議会
- 23日 東海市議会議長会

3月定例会 議決結果

(全会一致可決分)

議 案 名		採決結果
条例関係	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
	恵那市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市職員等の旅費に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市法令遵守の推進等に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市明智回想法センター条例の一部改正について	可決
	恵那市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市分担金等徴収条例の一部改正について	可決
	恵那市自転車駐車場条例の一部改正について	可決
	恵那市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市こども園設置条例の一部改正について	可決
	恵那市議会議員及び恵那市長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市議会議員及び恵那市長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部改正について	可決
その他	財産の処分について	可決
	和解及び損害賠償の額を定めることについて	可決
	市道路線の廃止について	可決
	市道路線の認定について	可決
	市道路線の変更について	可決
	恵那市過疎地域持続的発展支援計画の策定について	可決
	契約の締結について	可決

議 会 だ よ り

(全会一致可決分)

議 案 名		採決結果
令和7年度補正予算関係	専決処分の承認について (専第1号 令和7年度恵那市一般会計補正予算(第8号))	承認
	令和7年度恵那市一般会計補正予算(第9号)	可決
	令和7年度恵那市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決
	令和7年度恵那市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決
	令和7年度恵那市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
	令和7年度恵那市水道事業会計補正予算(第4号)	可決
	令和7年度恵那市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決
	令和7年度恵那市病院事業会計補正予算(第4号)	可決
	令和7年度恵那市国民健康保険診療所事業会計補正予算(第3号)	可決
令和8年度予算関係	令和8年度恵那市介護保険事業特別会計予算	可決
	令和8年度恵那市遠山財産区特別会計予算	可決
	令和8年度恵那市上財産区特別会計予算	可決
	令和8年度恵那市水道事業会計予算	可決
	令和8年度恵那市下水道事業会計予算	可決
	令和8年度恵那市病院事業会計予算	可決
	令和8年度恵那市国民健康保険診療所事業会計予算	可決
議会関係	恵那市議会会議規則の一部改正について	可決
	恵那市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市議会政務活動費の交付に関する規則の一部改正について	可決
人事関係	人権擁護委員の候補者の推薦について(柘植 美幸氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について(瀬瀬 佳恭氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について(高津 典生氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について(平林 和美氏)	同意

(採決が分かれたもの)

件名	会派・議員名	結果	新 政 会										共産党	公	リ	無	無	無		
			後藤康司	鶴飼伸幸	千藤安雄	西尾努	柘植孝彦	伊藤勝彦	服部紀史	太田敦之	林貴光	渡辺武彦	高橋隼人	猿渡南江	平林多津子	町野道明	佐々木透	秋山佳寛	千賀丈史	各務美穂
条例関係	恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	恵那市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	恵那市国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
予算関係	令和8年度恵那市一般会計予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	令和8年度恵那市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	令和8年度恵那市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議会関係	恵那市議会個人情報保護条例施行規則の一部改正について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

*共産党：日本共産党、公：公明党、リ：リベラルえな、無：無所属

○：賛成、×：反対、-：棄権

問 本市における中小企業の従業員数及び人手不足の実態について、また若年層の市外流出と市内企業への人材不足との関連性、更には女性・高齢者・外国人労働者の就業環境に関し、どのように分析をされているのか。

答 従業員数については、平成21年の2万4322人から平成28年には2万2577人まで減少し、令和3年は2万3215人とやや減少傾向となっている。若年層の流出等の関係性については、進学等で市外へ転出した若者が戻らないことが大きな要因の一つと分析しており、地元企業の魅力を学生に伝える取組が必要であると認識している。また、女性や高齢者の就業環境整備においては、再就職支援や短時間労働など、多様な働き方の選択や子育て環境の充実が不可欠であり、女性や高齢者、さらには障がいを持った方も含め、誰もが働きやすい就業環境を整えていくことが大切と考える。外国人労働者については、昨年10月末時点でのハローワーク恵那管



さ さ き とおる
佐々木 透

市内企業の発展と魅力ある労働環境について



議会中継

内の労働者数は1135人、これは県内全体の2・4%とそれほど多くはないものの、住宅の確保も含め、多文化共生の職場環境づくりについても今後の課題として認識している。

問 第3次恵那市産業振興ビジョン計画における、今後の方向性について

答 第3次ビジョンは、本市のある第3次恵那市総合計画（恵那市みらいビジョン2045）の下、産業及び就業に関する重要な個別計画として位置づけている。今後の方向性として、変化の激しい社会経済環境の中においても、稼ぐ力の強い持続する地域産業の形成を目指す姿として掲げている。この目標に向け、企業の成長、挑戦への支援から多様な人材が活躍できる就業環境の整備、本市独自の地域資源の活用と情報発信を網羅した基本方針を軸に展開していく。

(商工観光部長)

一般質問



さ わたり みな え

江 南 渡 猿

恵那市の農村地域の活性化への道 農村地域の皆さんの声を 取り上げました。



議会中継

問 農業経営体数の減少について
の分析は。

答 販売額300万円未満の層の減少が最も大きい。市の農業経営体の94%が販売額300万円未満の小規模層で、減少は兼業農家の離農が主な要因。農業従事者の高齢化、後継者不在、収益性の低さがあり、農業機械の老朽化による故障をきっかけに離農する例もある。

問 中山間地の農地を守る活動
に対し、交付金が出ている
がどういふものか。

答 国・県・市が費用を負担する「中山間地等直接支払制度」とは、生産条件が不利な地域への農業生産活動の継続を支援するもの。実体は市内集落73集落、対象農地1515畝、交付額2億6328万3千円。多面的機能支払交付金の制度もある。水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観形成など、多面的機能の維持・発揮を図る共同活動を支援する制度。

問 水田の役割は。

答 食料生産はもとより、洪水防止、水害の軽減、水資源の貯留、地下水の涵養、生態系の

保全、良好な景観形成、ヒートアイランド現象の緩和など多面的機能がある。

問 耕作放棄地の解消について

答 本市の補助金により遊休農地の再生作業、土壌改良、不作付地の深耕・整地・排水改善・障害物除去などを支援。農地再生後5年以上の耕作を条件に10ヶ当たり上限5万円を補助。

問 農業収入は農業経営を維持
できる収入か。

答 農業収入(販売額から推測)は300万円未満が94%、300～1000万円未満が3%、1000万円以上が3%。販売額300万円未満の場合、経費を差し引くと収入は数十万円程度。兼業農家の収入はかなり少額で、米農家がほとんどである。

問 恵那市としての補助制度は。

答 恵那市農業振興事業補助金を出している。新規就農者の機械設備導入、研修時の住居の確保、大型特殊免許の取得など、国や県の支援対象とならない領域をきめ細かく支援している。

(農業委員会事務局長)



ひらばやし たづこ

平 林 多 津 子

公営住宅の 現状と今後の取組



議会中継

問 公営住宅の現状分析から課題
となったことは。

答 住宅の質の向上を図りつつ、計画的な改修や長寿命化を進める必要がある。

問 具体的な計画は。

答 各住宅を用途廃止、個別改善、維持管理の3つに分類し、令和13年までの短期計画では、用途廃止25団地、個別改善13団地、維持管理8団地としている。

問 短期計画で用途廃止予定の
公営住宅についての扱いは
どうなるのか。

答 現入居者が退去されるまで適切に管理し、その後、解体・撤去を行う。跡地利用は、民間売却など多様な選択肢の中から地域の活性化につながる有効活用を検討していく。

問 用途廃止予定住宅から個別
改善や維持管理方針の住宅
へ転居する場合の支援はあるのか。

答 引っ越しに係る費用の補助を行い、家賃差が生じる場合には、段階的に調整する激変緩和措置を講じている。

問 短期で個別改善、中期で用途
廃止住宅への入居は認め
られないのか。

答 予防保全的な計画修繕をし、当面は維持管理を行うため、入居は可能。ただし、土砂災害特別警戒区域内の住宅や耐用年数を経過した木造住宅は、安全性や管理コストの観点から、新たな入居募集は行っていない。

問 入居の際、保証人は必ず
要か。

答 現在、国や近隣自治体の動向を参考にしながら、制度緩和に向けた要綱制定を行うよう進めている。

問 60歳以下で収入が少なく、
単身の方の入居はできない
のか。

答 市営住宅に単身入居できる要件は公営住宅法を下に条例で定め、60歳以上の方、身体障がい者、精神障がい者、知的障がい者、生活保護受給者、DV被害者などの方が対象となっている。入居条件を満たさない方は、県が指定する住宅確保要配慮者居住支援法人を案内している。

(リニア都市計画局長)

一
般
質
問



はやし たか みつ
林 貴 光

恵那市の農林業 活性化について



議会中継

問 本市農業の構造的課題とその対策は。

答 「農業を辞めなくてよい状態づくり」を基本方針としてきた。①担い手が限られていても農地を維持できること②中山間地域でも無理なく営農を続けられること③価格競争に陥らない販路や価値づくり、この3点を柱に施策展開してきた。

問 取組に対する成果は。

答 担い手が限られる中でも農地を預かる体制が整い、耕作放棄地の増加に一定の歯止めがかかっている。スマート農業の導入により、作業負担の軽減と少人数でも農業継続が可能な地域が増えている。たべる推進事業では、ふんど認証を36事業者が取得し、地産地消とSDGsの推進が進んでいる。

問 豪雨災害による坂折川流域における復旧計画の見通しは。

答 坂折川流域では、農道橋、その下流の頭首工3か所、支流の岩竹川3か所が被災した。県管轄の河川護岸の石積みも多数の被害が発生した。県の復旧事業費は、8億4700万円で、市の

復旧事業費は、9400万円を見込んでいる。農道橋については、国との協議に時間を要したため、秋以降の工事、来年3月末の完成を目指している。頭首工3か所は本年6月頃の完成を目指す。
(農林部長)

問 ツキノワグマへの対応は。

答 市では今年1月26日に机上訓練を、2月19日に実地訓練を実施した。訓練には、恵那市猟友会、恵那警察署、岐阜県及び恵那市の関係機関が参加し、今後とも年1回程度実施していく。実際の出没時にも、同様に連携していく。赤外線ドローンを使い位置把握を行うなど、先端技術も取り入れる。

問 持続可能な林業への考えは。

答 再造林の進まない森林の増加など構造的な問題がある一方で、国産材需要の高まりや、脱炭素社会の推進、豊富なヒノキ資源といった本市ならではの強みと可能性がある。森林資源の循環の徹底、路網整備とスマート林業の推進、環境価値の収益化、担い手の育成に注力していく。
(農林部次長)

一般質問



いとう かつひこ
伊藤 勝彦

恵那南中学校と 恵那南高校、 そして恵那市とホリプロ



議会中継

問 市の恵那南高校に対するこれまでと今後の支援は。

答 明知鉄道の通学定期券の補助を平成28年度から行ってきた。介護サービス業務に従事する人材育成のための支援、恵那商工会との連携による企業実習の実施など、魅力ある高校づくりのため今後も引き続き支援を継続していく。

問 恵那南中学校への演技ワークショップの導入の具体は。

答 秦秀明氏を講師に「仲間づくり」「自己表現」「他者理解」など年間2回実施する。同時に職員研修としても行う。今後は、恵那南中学校から市内中学校に広げるため、コーチの育成も行っていく。
(教育委員会事務局長)

問 恵那南中学校と恵那南高校との連携についての教育長の考えは。

答 二校の連携は、生徒・地域にとつて有効。計画的に継続性をもって行うことが大切。今後は実施可能なことから連携を進めていく。令和8年度は教員間の

交流や授業交流から進めていく。
(教育長)

問 ホリプロとの連携でのエンターテイメントによるまちづくり構想について市としての考えは。

答 演技ワークショップにより関係人口の増加が期待される。市としては演技ワークショップの開催にとどめず、エンターテイメントを地域活性化の起爆剤として、長期的戦略を具体的に検討していきたい。
(まちづくり企画部長)

問 恵那南高校に対する思いとホリプロと恵那市との連携の強化について、市長の考えは。

答 恵那南高校は、恵那市にとつて必要な高校であり、持続は地域の活力、人材育成の点から極めて大切。引き続き持続に向けた支援を市として考えている。演技ワークショップは恵那市の教育の特色を打ち出す上で有効。ホリプロとの連携はできる限り可能性を探っていく。恵那市としてあらゆる場面で学ぶ環境をつくっていききたい。
(市長)



わた なべ たけ ひこ
渡辺 武彦

・今後の恵那市の財政展望について
・中山道の国史跡指定に伴う保存と活用について



議会中継

今後の恵那市の財政展望について

問 財政計画から見る特徴は。

答 歳入では、自主財源は近年同規模で推移し、将来も大きな伸びは見込めない。一方、依存財源は変動しつつ、今後はやや減少見込みであり、安定した財源確保が課題とされた。歳出では、総額は減少する見込みだが、人件費や公債費、物件費などは増加。一方で大型事業の終了により投資的経費は減少する。地方債残高は令和6年度から令和11年度までに70億円の縮減を目指し、基金残高は約214億円を維持する見込み。実質的な借金はすでに基金を下回り、健全性は保たれている。

(総務部長)

問 基金運用の実態について

答 基金運用では国債等で約1億円規模の運用益を確保している。

問 債権管理条例施行による実績について

答 条例の施行により、全庁的な回収体制が整備され、未収債権の縮減と公平性の確保が進んでいる。(市民サービス部長)

中山道国史跡指定に伴う保存と活用について

問 地元への影響について

答 中山道の国史跡指定により、保存活用計画の策定や修復、案内板等の整備、公有化などに国の補助が活用可能となり、文化庁からの専門的助言も受けられる一方、指定区域の市道は歴史的景観に配慮した維持が求められるが、既存施設への制限は特にない。隣接する民有地の利用制限はなく、住民生活への影響は最小限とされる。

(教育委員会事務局長)

問 中山道の観光資源の活用について

答 観光振興と生活環境の調和を図りながら、歴史的・文化的価値を損なうことなく、国内外からの観光客の受入れ環境を整備し、地域に負担をかけない形での来訪促進につなげていくことが必要。

(商工観光部長)

問 地域の生活道路について

答 歩行者の安全性と快適性を向上させるとともに地域の生活環境を維持していくことが必要と考える。

(建設部長)



せん が たけ ぶみ
千賀 丈史

・恵那市のDX推進への現状と課題、今後の取組について



議会中継

問 恵那市DX推進計画の考え方は。

答 基本理念には単なる技術や効率性に偏るのではなく、人の想いや価値を尊重し、「人を大切にDXで、暮らしをもつと便利に安心に」とした。基本方針を、市民サービスを便利にする、市役所の仕事を効率化する、地域の暮らしと経済を豊かにすると位置づけ、特に人口減少社会の中における地域課題の解決に対しては、デジタルの力を使って挑戦していく。

問 これまでのDX推進の取組は、職員の休暇取得などにもつながっているか。

答 職員の年次有給休暇の推移は、令和3年度の取得日数6489日、1人平均10日に対し、令和6年度の取得日数7937日、1人平均12.6日へと増えた。計画的に休暇を取りやすくなった部署が増えていると分析している。

問 今後導入するオンライン申請の考え方は。

答 令和8年度に新たな共通プラットフォームを導入し、

個人認証、オンライン決済、電子通知まで一体で完結させ、時間と場所の制約や紙の印刷、記入、郵送や窓口での書類の受け渡しといった手間を減らし、市民や事業者の利便性を高めていく。書かない窓口による手続ワンストップについても検討を進めていきたい。

問 スマートフォンやパソコンを使える人と使えない人の間に生まれる、情報の受取りやすさや便利さの差(デジタルデバイド)への対応は。

答 1つ目は、誰もが必要な情報やサービスに簡単にたどり着けるよう、音声読み上げや簡単な操作環境の提供。多言語化、やさしい日本語、振り仮名など、市ウェブサイトや市公式SNSへのアクセシビリティの向上。2つ目に、支援を必要とする人への学習機会や支援体制を確保するようスマートフォン教室を毎月1回程度継続開催。視覚障がい者向け教室、地域出張型教室の開催など、きめ細かな支援にも取り組む。

(まちづくり企画部長)



たかはしはやと
高橋 隼人

リニア基盤整備計画の推進状況について



議会中継

問 後期計画に位置づけられている事業について、今後どのように進めていく考えか。

答 リニア開業が延期となる中で、市として優先すべき事業は前倒しして進める検討を行っている。中でも恵那峡サービスエリアスマートインターチェンジの事業化に伴い、アクセス性の強化が必要なため、既存の道路を含めたネットワークの再構築が必要と考え、取り組んでいる。また、恵那峡サービスエリアスマートインターチェンジやリニア岐阜県駅に近い大井町東地域については、すぐにも事業を取り組む必要があると考えている。令和8年度には大井町東地域及び阿木川東公園について、都市計画決定に向けた調査予備設計を行うなど、着実に準備を進めている。これらの事業は、既に説明会を開始しており、住民の理解を得ながら事業の具体化を図っている。

問 将来計画に位置づけられている事業について、今後どのように進めていく考えか。

答 恵那市では、20年後の未来を目標とした第3次恵那市総合計画・恵那市未来ビジョン2045が令和8年度から始まる。その中では、「リニア開業を見据えて新しい人の流れをつくる」をテーマに、重点プロジェクトを定め、取組を行っていく。第3次恵那市総合計画や恵那市リニア基盤整備計画、平成26年3月に作成した恵那市リニアまちづくり構想の見直しを含め、長期にわたりそれぞれの計画の実現に向けた取組が必要と考えている。また、自動運転やドローンの活用など、文明の進化に伴い、計画の見直しが必要などときは、時点修正を行い、時代に合った取組を行うことも必要と考えている。今後も恵那市内の利便性の向上や安全性の確保など、恵那市の将来のためにしっかりと進めていく。

(建設部長)

一般質問



はっとり のり ぶみ
服部 紀史

希望のもてる地域づくり 〈第3次総合計画の推進について〉



議会中継

問 基本構想に掲げられた「自然とともにひととまちが輝く活力あふれる恵那」の将来像の具体的なイメージは。

答 将来像の設定は、891人の市民からいただいたアンケート結果や、市内の小学校6年生、中学校3年生656人、市内3校の高校3年生361人の特に若い世代からの意見聴取などを実施し、寄せられた意見から目指すべき将来像を設定した。一見抽象的な表現に見えるが、背後には「自然」「暮らし」「安全」「活力」などの市民が求める具体的な地域の姿を明確に反映したものとなっている。そして、土地利用構想の具現化が恵那市の将来の「まち」の具体的な姿であるとイメージしている。

問 その土地利用構想の具現化に向けた取組についての考えは。

答 土地利用構想は、恵那市の将来のまちづくりの方向性を示すものとして第2次恵那市総合計画から位置付けられ、この実

現に向かい立地適正化計画の策定を進めて来たところである。将来像の実現には、この土地利用構想に基づく土地利用の推進が不可欠だと考えており、第3次恵那市総合計画の各取組の中で、来年度からスタートする第1次基本計画において、ソフト、ハードの両面で土地利用構想の実現に向け進んでいく。(まちづくり企画部長)

問 恵那市の将来像を実現するための市長の意気込みは。

答 恵那市未来ビジョン2045(第3次恵那市総合計画)の実現は大変に険しい道のりかもしれないが、実現に向けて取り組んでいきたいし、20年後の恵那市は「日本だけでなく世界で最も住みたい田舎」になるのではと大きな期待をしている。市民の一人ひとりがこの未来ビジョンの主役で、そしてスタッフでもある。力を合わせて一緒に恵那市の未来を切り拓いていきたいと思うので、皆様のご理解ご協力を心からお願い申し上げます。(市長)

第3次恵那市総合計画のスタートに合わせ個別計画の多くが改訂

総合計画は、基本構想と基本計画の二層で構成され、基本構想は20年間、基本計画は4年毎に見直しがされます。そうしたことから個別計画の多くは、この基本計画の期間に合わせ改訂がなされていくこととなります。今回改訂の次の個別計画は、いずれも令和8年度から令和11年度までの4年間の計画です。

第2次 恵那市観光ビジョン

◆将来ビジョン

恵那の誇りと個性を磨き、地域交流を促進し、持続可能な観光地として稼ぐ力を高める

◆基本方針

1. 世界に選ばれる恵那
2. 自然・歴史・文化・食を融合した滞在型観光地
3. 観光を通じて地域の誇りを育み、人材が活躍できるまち

第2次 恵那市たべる推進計画

◆将来ビジョン

恵那市の魅力ある食と農を次世代へつなぐ

◆基本方針

1. 食と農の連携強化（つながる）
2. 市内農産物の消費拡大と恵那の食のPR（つかう）
3. 市内全体での農産物の生産向上と販路拡大（つくる）
4. 恵那の食と農への理解促進、食文化の伝承（つたえる）

第3次 恵那市産業振興ビジョン

◆将来ビジョン

稼ぐ力の強い、持続する地域産業の形成

◆基本方針

1. 挑戦を後押しする環境の整備
2. 持続可能で強靱な中小企業の支援
3. 人が集まり活躍できる地域づくり
4. 地域資源を活かした独自価値の強化と発信

第3次 恵那市環境基本計画

◆将来ビジョン

自然とともに ひととまちが輝く 活力あふれる恵那～青と緑と太陽と土を生かし、持続可能なまちを創る～

◆基本方針

1. 恵み豊かな郷土の自然を守り共生する
2. 環境負荷の少ない循環型社会を構築する
3. 地球温暖化を防止する脱炭素社会を実現する
4. 安全で快適な暮らしを支える基盤を充実する
5. 持続可能なまちを創る仕組みづくり・人づくりを進める



議決された主な内容

恵那市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険法施行令及び国民健康保険の国庫負担金等の算定に関する政令の一部改正に伴い、子ども・子育て支援納付金の徴収が定められ、また賦課限度額及び軽減判定所得基準額が引き上げられたため、恵那市国民健康保険条例を改正する。

恵那市明智回想法センター条例の一部改正について

令和7年度をもって、恵那市明智回想法センターにおける指定管理の期間が終了し、直営となることに伴い、条例を改正するもの。

令和8年3月補正予算

○物価高騰対応に係る事業 高齢者等生活支援事業費 4,450万9千円

物価高騰の影響を受けている高齢者を支援するため、75歳以上の高齢者に対し、1人当たり1万円分の公共交通利用券を配布するもの。

令和8年度に実施される主な事業

令和8年度も子育て支援策がさらに拡充

令和6年度からの「経済的負担への支援」「よりそう支援」「子育て環境支援」の3本柱を掲げた子育て支援パッケージに新たな支援が加わり、子育て世帯への支援がさらに充実。

○入学祝い金及び高等学校生活等支援事業…………… 312万円

小中学生への入学祝金、高等学校就学等への支援金

○明知鉄道利用の高校生通学費支援事業…………… 1,518万7千円

明知鉄道通学定期代の1か月あたり5,000円を上回る分を助成

○出産費用助成事業…………… 658万6千円

恵那病院で出産した場合は全額助成、それ以外では上限10万円までの助成

○妊婦・出産応援事業…………… 4,508万9千円

不妊治療費の保険適用外治療費、交通費の一部助成

産後サロンの開催、産後ケアの利用料支援

妊婦のための支援給付、第2・3子以降出産祝金支給

○(新)子どもの居場所づくり推進事業…………… 100万円

子どもの居場所づくりに取り組む団体の運営費用の一部を助成

○(新)子育てサポータースキルアップ事業…………… 10万円

子育て支援に関わる職員が専門的な知識・技術を習得する

○(新)母子保健事業…………… 3,163万2千円

5歳児健康診査

令和8年度に新たに実施される主な事業

○遠距離通学等対策事業…………… 1億9,708万4千円

恵那南中の遠距離通学生徒へのスクールバス運行を開始する。

○水槽付消防ポンプ自動車購入事業…………… 7,415万2千円

21年が経過した消防車両を更新するとともに、圧縮空気泡消火装置、ホースカーなどの消防装備を拡充する。

○小学校・中学校・こども園防犯対策事業…………… 4,121万8千円

市内の全小中こども園に防犯カメラ及び小中学校に玄関オートロック設備を整備する。

○学校給食負担軽減事業…………… 1億9,474万9千円

市内市立小・中学校給食費について、経済的負担軽減を図る。小学校は完全無償化、中学校は月額2千円定額制。

○自動運転実証実験事業…………… 1,978万4千円

地域における移動手段を確保するため、自動運転移動サービス導入に向けた実証実験を行う。

○地域クラブ支援事業…………… 1,500万円

認定する地域クラブに運営補助を行うことで、中学生のスポーツ・文化・芸術活動を支援する。

○ハザードマップ作成事業…………… 989万4千円

住民の防災意識の向上を図るため、地域特性に応じたデジタルハザードマップを作製・更新する。

○行政手続きオンライン化推進事業…………… 745万7千円

市民や事業者からの申請サービスをオンライン化することで行政サービスの利便性向上を図る。

○リニューアルした宮盛座での伝統芸能イベント事業…………… 661万円

リニューアルした宮盛座で恵那ゆかりの多彩な伝統芸能イベントを開催する。

○リニア開業を見据えたまちづくりの推進…………… 200万円

リニア中央新幹線の開業を見据え新たな交流人口獲得の拠点づくりに向け、シアター恵那の活用方法を検討する。

○長島小学校建て替えに向けた検討事業…………… 132万円

築55年が経過した長島小学校の再整備を進める。

○恵那南地区中学校統合後の跡地活用検討事業…………… 50万円

恵那南地区中学校統合に伴う跡地について、地域の声を踏まえた活用方法の検討を進める。



▲恵那南中学校スクールバス



▲学校給食の様子

令和7年

(回答数：104件、回答率：87%)

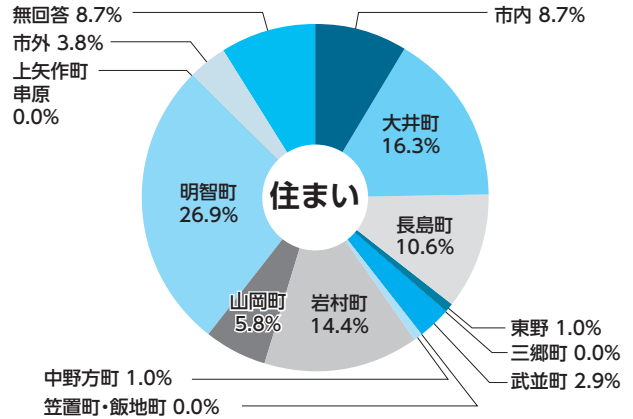
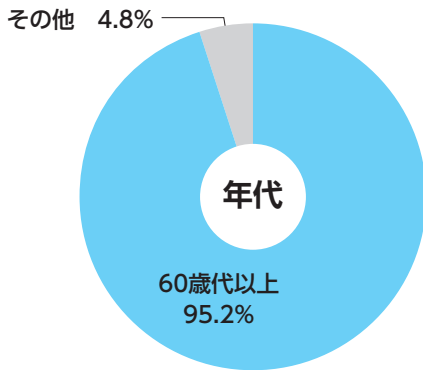
議会傍聴アンケート

傍聴者に、傍聴の感想や議会への要望などについてのアンケートを実施しました。

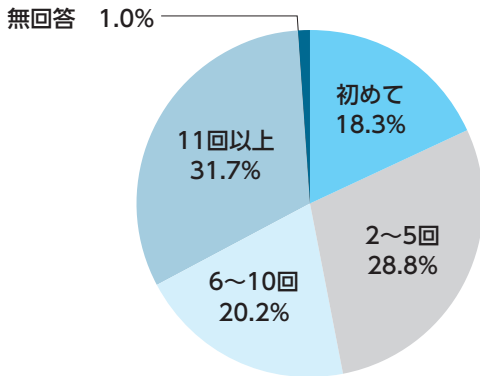
令和7年 定例会 傍聴者数

議 会	人 数
3月定例会	44名
6月定例会	19名
9月定例会	19名
11月臨時会	0名
12月定例会	37名
計	119名

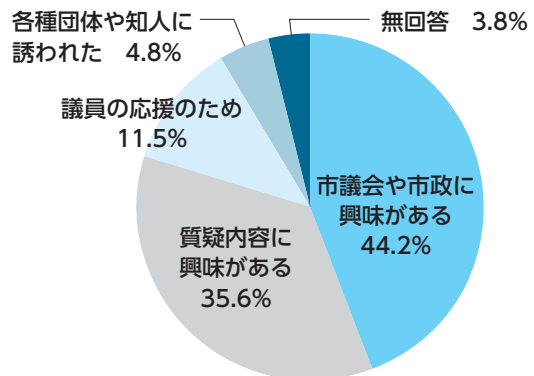
Q1. あなたの年代、お住まいの地域をお答えください。



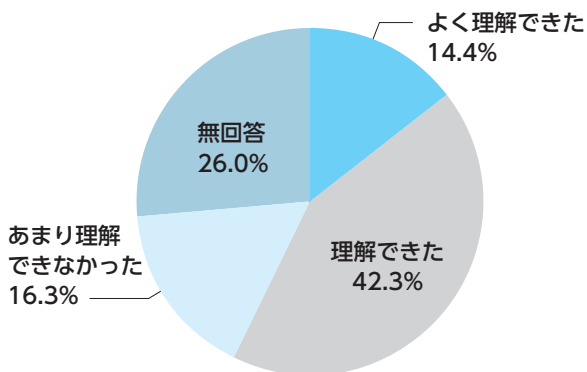
Q2. 議会の傍聴は何回目ですか。



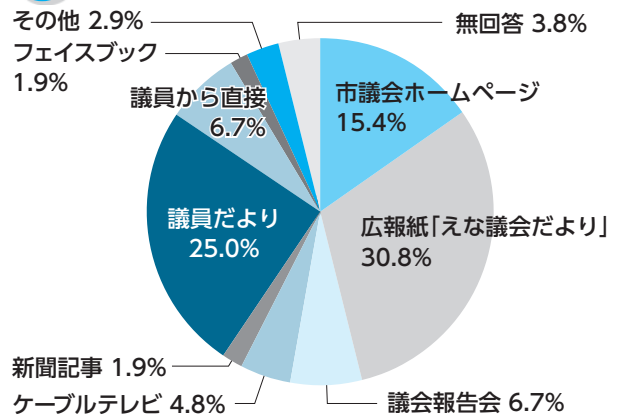
Q3. 傍聴に来られた目的、理由は何ですか。



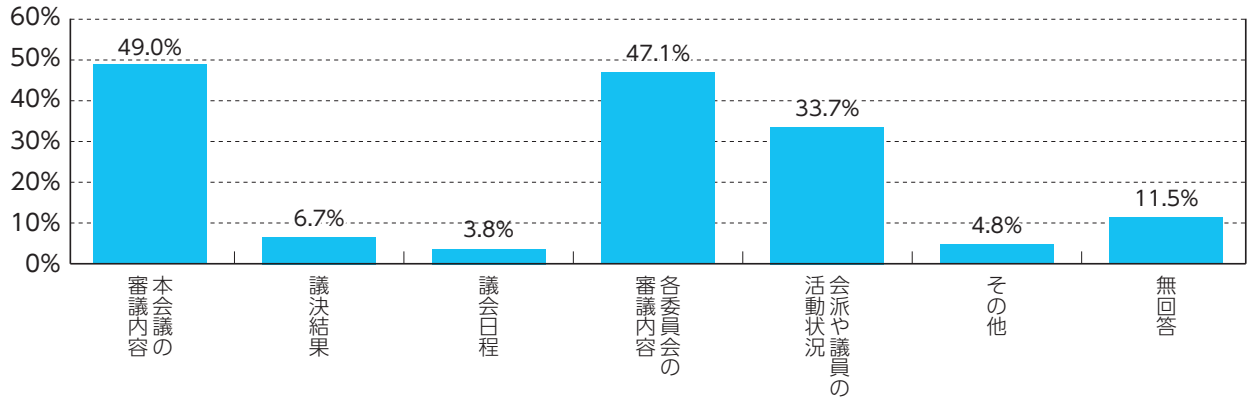
Q4. 議会での発言はよく分かりましたか。



Q6. 市議会の情報について、どこから情報を得ていますか。



Q5. 市議会の活動に関する情報で、あなたが知りたいと思うのはどのような情報ですか。(複数回答可)



Q7. 今回、傍聴されて気づいた点がございましたら、ご記入ください。

- ・一般質問など質問時間が短く、早口で聞きにくい。
- ・回答が形式的。原稿読みのやり取りに終始している。再質問が必要。質問が深まらない。
- ・バス対応、不登校児の居場所など子ども視点が不足しているのでは。
- ・議案など配布資料がない。 ※Q1 (P18でお答えします)
- ・委員会での議論内容を具体的に知りたい。
- ・騒音などの説明に具体的な数字がなく不安。安心できる基準値を示してほしい。
- ・初めて生の質疑を見て良い経験、勉強になった。
- ・議場内で議員と職員が同じWRCのユニフォームを着ていたのが疑問に感じた。

※Q2 (P18でお答えします)

- ・一部、音声聞き取りづらいところがあった。
- ・傍聴人が少なく寂しい。
- ・ICT教育への不安、駅前利用の市民意見を反映してほしい。

Q8. 恵那市議会全般について、ご意見、ご要望がございましたら、ご記入ください。

- ・12月定例会では一般質問をした議員が少なかった。もっと質問してほしい。
- ・議論が深まる仕組みを取り入れてほしい。 ※Q3 (P18でお答えします)
- ・学生が授業の一環で傍聴できるようにしてほしい。
- ・若者の意見を反映してほしい。
- ・委員会や、決算審査特別委員会も中継してほしい。 ※Q4 (P18でお答えします)
- ・委員会中継をインターネットで見られるようにしてほしい。
- ・議会全体を市民にもっと知ってもらう取り組みを。
- ・福祉バスやタクシー不足の改善、高齢世帯の生活改善をもっと取り上げてほしい。
- ・同じような議案は一括説明できないか。
- ・もっと多くの人が議会の傍聴に来られるとよい。
- ・委員会の日程がわかるように告知してほしい。

前ページの※Q1～Q4の質問についてお答えします。



▲広報広聴特別委員会

Q1

佐々木 透 委員長 議会での配布資料がないとのご意見について、恵那市役所ウェブサイト「市政情報＞条例・情報公開・議案＞市議会案件」に定例会の資料を随時公開しておりますので、ご活用ください。

Q2

佐々木 透 委員長 「一般質問時のユニフォーム着用について」ご意見をいただきました。本件につきましては、世界ラリー選手権（WRC）を応援し、地域を盛り上げる取り組みの一環として、ラリー開催に合わせて、一般質問の日ユニフォームを着用することについて、議会運営委員会において協議し、全会一致で決定したものです。

Q3

林 貴光 副委員長 「議論が深まる仕組みを取り入れてほしい」とのご意見がありました。もともと質問者（議員）から答弁者（市長・職員）への再質問は行われていましたが、3月定例会に議会から発案した「恵那市議会会議規則の一部改正について」の議案が可決され、これまで委員会で試験的に運用しておりました「反問権」を、本会議においても行使することができることとなりました。

反問権は、議会において議員から質問された者が、その質問内容や趣旨について確認や問い返しを行うことにより、論点を明確にし、議論をより深めるために導入されるものです。

Q4

林 貴光 副委員長 委員会についてもテレビ中継を希望するご意見がありました。委員会は、審議する議案の内容や件数によって会議時間の長短が事前に定まらないため、テレビ中継を行うことが難しい状況にあります。

このことから、現時点では市議会として委員会の中継には取り組んでおりませんが、今後の技術的環境の変化や運用方法を踏まえ、検討していく必要があると考えております。

令和8年 第1回 議員総会が開催

○恵那市議会議員政治倫理要綱の一部改正が議題となりました。

令和7年から各派代表者会議等で議論してきました議員政治倫理要綱（平成16年12月3日 制定）について、新たな改正案が提案され、協議の結果、異議はなく全会一致で可決されました（令和8年3月24日議員総会 改定）。

○改正した要綱（全文）

○恵那市議会議員政治倫理要綱

恵那市議会議員（以下議員という。）は政治倫理確立のため、全員一致をもってこの要綱を定め、これを遵守する。

第1 議員は、主権者である市民の厳粛な信託により、市民の代表として市政に携わる機能と責務を有することを深く認識し、公正、誠実、清廉を基本とし、厳しい倫理意識に徹して積極的に活動し、その使命の達成に努める。

第2 議員は、次の各号に定める事項を遵守して行動する。

(1) 議員は、市民全体の利益向上を目的として行動する。

(2) 議員は、地方自治の本旨に則り、議員本来の責務を全うする。

(3) 議員は、自らの行動を厳しく律し、議員としてふさわしい品位と見識を養う。

(4) 議員は、公正かつ清廉な選挙運動及び政治活動を通して、市民の支持と信頼を培う。

(5) 議員は、他人の名誉を毀損し、人格を損なう一切のハラスメント行為をしないこと。

(6) 議員は、口頭、電話、文書、メール、SNS、チラシその他いかなる方法をもってしても、虚偽又は事実と異なる内容若しくは事実を誤認させるような内容を流布しないこと。

(7) 第三者をして、前2号の行為をさせないこと。この場合において、第三者とは、議員本人以外のすべての者をいい、個人・団体・法人その他の組織を含むものとする。

(8) 議員は、「政治倫理に反する」と政治的、道義的批判を受けたときは、自ら誠実に疑惑を解明し、その責任を明らかにする。

第3 議員は、毎年5月1日から同月31日までの間に、前年度に納入等の期限が終了した税金等に係る納税等の状況を記載した報告書を作成し、遅滞なく議長に提出しなければならない。

第4 議員は、別に定める「政治倫理確立のための申合わせ事項」に従わなければならない。

第5 議員が、この要項、申し合わせ事項に違背した場合にこれを審査するために恵那市議会議員政治倫理委員会（以下「委員会」という。）を設置するものとする。

第6 委員会は、審査の結果、政治倫理に反する事実があると認めた議員に対し、要項申し合わせ事項の遵守、議会への出席の自粛、議会における役職辞任の勧告、及び議員の辞職の勧告等、その他委員会が必要と認める措置をとるものとする。

※下線部分が新規で追加された箇所、二重下線部分は番号の変更のみ

表紙の説明

ゴールデンウィーク
各地の魅力を活かした

イベントで賑わう

やや天候が不安定で心配されたところもありましたが、ゴールデンウィークはそれぞれの地域の魅力を発揮したイベントが多彩に行われました。

歴史を活かした「第53回 光秀まつり・第37回 ちょっとおんさい祭り」では明智光秀等三武将を公募で選ぶという新しい企画が加わりました。

上矢作町では、一昨年整備された公園を使って初めての「上矢作 みんなのリバーパークデイ」が行われました。その他自然を活かして「第47回 根ノ上高原つじ祭り」、道の駅での恒例の「らっせいまつり」、「おばあちゃん市・山岡こどもの日イベント」等々様々なイベントが恵那市のあちこちで行われ、賑わいました。

それぞれの会場では、親子・家族・地域の皆さんのふれあいがあり、たくさん笑顔や歓声にあふれていました。多くの観光客も訪れ、恵那市の魅力を存分にアピールすることができました。

これらのイベントを成功させるためにご尽力された関係者の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

地域のつながりが深まると共に、恵那市の魅力に導かれ、更に多くの観光客が訪れて下さることと信じています。

主な出来事

第23回
恵那峡ハーフマラソンが
開催

4月19日、クリスタルパーク恵那スケート場を発着点に、第23回恵那峡ハーフマラソンが開催されました。昨年より304人増の2445人がエントリーし、青森県から長崎県まで全国各地から多くのランナーが集い、恵那市の魅力を広く発信する大会となりました。

当日は夏日となる厳しい暑さの中でしたが、若葉に彩られた起伏あるコースに挑むランナーの力走が光り、沿道の温かな声援が大会を一層盛り上げました。開会前の演奏やラリーカーによるPRも行われ、地域一体となったにぎわいが広がりました。大会は地元ボランティアスタッフの皆様の献身的な支えにより安全に運営され、無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

また、3キロロードレースや親子で参加できる種目も行われ、多世代が楽しめる大会となりました。参加者同士の交流も生まれ、笑顔あふれる一日となりました。今後本大会が交流の輪を広げ、地域の魅力を内外に発信する場として発展し、まちの活力向上につながっていくことを期待します。

編集後記

3月議会が終わり、季節は春へと移り変わりました。暖かさと寒さが入り混じるこの時期、皆さまいかがお過ごしでしょうか。体調を崩しやすい季節でもありますので、どうぞご自愛ください。

新年度を迎え、新たな環境での生活が始まった方も多いことと思います。恵那市では令和8年度より恵那南中学校が開校となり、市内の中学校は4校になりました。

入学式には、生徒と多くの保護者が参列し、体育館が少し手狭に感じられるほどの活気に包まれていました。

生徒の皆さんの「新しい伝統を築いていこう」という前向きな思いが伝わり大変印象的でした。また、同じ時期に市内の桜の名所である阿木川ダム湖畔を訪れました。桜の花びらが舞う中、新1年生がランドセルを背負って記念撮影し、春の訪れを感じる温かなひとときとなりました。

(M・K)

広報広聴特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 佐々木 透 |
| 副委員長 | 林 貴光 |
| 委員 | 各務 美穂 |
| | 高橋 隼人 |
| | 服部 紀史 |
| | 平林多津子 |
| | 西尾 努 |

次回の議会だよりは、9月1日の発行を予定しています。